

## 当金庫の地域経済活性化への取組みについて

当金庫は、宮城県北、岩手県南地域を事業区域として、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに理解していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



### 1. お客様の預金について

当金庫の28年3月末の預金積金残高は1,488億円です。お客様からお預かりした大切な預金は、みなさまから信頼をいただいている証であります。お客様の大切な財産の運用を安全に、確実に、気軽にご利用いただけるように、また、目的や期間に応じて選択いただけますよう各種預金を取り揃えております。

なお、取り扱っている商品については、25ページをご覧ください。

### 2. 地域のお客様へのご融資について

当金庫は、預金者に対する責任に応えるべく、出資者である会員の皆様へのご融資を基本として、地元中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄に向けて、多数者利用の原則に基づく融資を心がけております。

#### 【貸出の運営方針】

地域に貢献する中小企業に対して積極的に支援します。

- ①大口に偏重することなく、多数のお客様にご利用頂けるように徹底し、信用リスクを分散いたします。
- ②住宅資金や教育資金等公共性の高い資金需要に対して積極的に支援します。
- ③業種の片寄りを可能な限り是正し、バランスのとれた運用を行います。

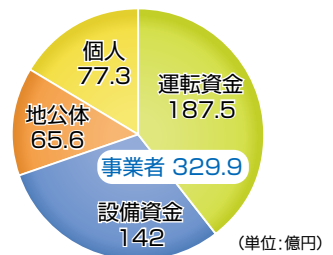
平成27年度における当金庫の貸出残高は【図1】の構成となっております。なお、当金庫で取り扱っている商品については、26ページをご覧ください。

【図1】貸出金残高構成

貸出金残高 473億円

預金積金における  
貸出金の割合

31.78%



### 3. 地域のお客様へのご支援について

当金庫は、疲弊した地域経済の中において、地域活性化、企業再生のために、地域取引先との人：地：機といった濃密な縁で相談のっております。

業務、財務内容等についての確かな分析を行いながら、改善策、経営改善計画書への適切なアドバイスを通じて、支援に取り組んでおります。

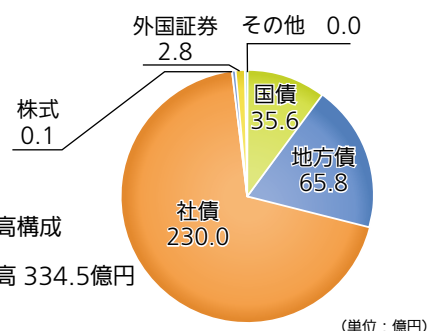
また、会員約500名の「さざなみグループ」が外郭団体としてあり、毎年の旅行、新年交歓会等のなかで、長年に亘り会員相互の親睦を育んで参りました。

### 4. ご融資以外の運用について

当金庫は、お客様の預金をご融資の運用の他に信金中金への預け金及び有価証券による運用も行っております。この余裕資金の運用にあたっては、安全性や収益性の確保に留意しながら、流動性が高い運用資産の充実に努め適正な支払準備資産を確保しています。

【図2】有価証券残高構成

有価証券残高 334.5億円





## 東日本大震災の復旧・復興から「復興・創生」に向けて

当金庫は、地域の復興・創生および地域経済の活性化に向けた取組みを強力に推し進め、円滑な金融仲介機能を発揮するとともに、お客様や地域が抱える課題の解決に資するべく、以下の施策に取り組んでおります。

### ◇本部と営業店の連携による相談機能の強化

震災以降に設置した「復興支援課」は、6名体制（平成28年3月末現在）により、公的支援制度や各自治体における復興施策、復興特区に係る情報を提供するなど、営業店および本部関連部署と連携を図りながら、被災されたお客様のご相談に対応しております。

また、平成26年9月に設置した「企業支援課」は、2名体制（平成28年3月末現在）により、お客様の経営改善・事業再生等の支援に係る専任部署として、外部機関等との連携、当金庫関連部署との業務調整、営業店との協働などに取り組んでおります。

お客様からの融資相談につきましては、本部と営業店が一体となった体制を構築しており、平成28年3月末までに累計9,273件のご相談をいただいております。

さらに、住宅ローンや個人版私的整理ガイドラインに係る説明会を地区別に順次開催するとともに、今後も本部と営業店の連携による同行訪問や地域の復旧・復興状況に合わせた店舗網の再構築に取り組み、お客様の利便性向上、相談機能の強化を図ってまいります。

### ◇被災者からの申し出による条件変更、信用供与等の実績

《被災者との合意にもとづく約定弁済の一時停止実績》（単位：先、百万円）

	ピーク時(平成23年6月末)		平成28年3月末	
	先数	金額	先数	金額
事業性ローン	168	9,069	0	—
住宅ローン	115	1,092	0	—
その他	103	101	0	—
合計	386	10,262	0	—

《東日本大震災以降の条件変更実績》（単位：先、百万円）

	震災以降 累計（注）	
	先数	金額
事業性ローン	121	6,138
住宅ローン	110	960
その他	181	170
合計	412	7,268

《被災者向け新規融資の実行先数・金額》（単位：先、百万円）

	震災以降 累計（注）		うち条件変更先 に対する新規融資	
	先数	金額	先数	金額
事業性ローン	1,673	38,542	195	4,502
うち運転資金	1,165	20,513	146	2,595
うち設備資金	508	18,029	49	1,907
住宅ローン	180	2,658	5	82
その他	173	352	2	3
合計	2,026	41,552	202	4,587

（注）平成28年3月末までの累計



## 販路拡大等事業拡大のための取引先紹介、マッチング支援

当金庫は、全国の信用金庫等と連携し、ビジネスマッチングイベントや個別商談会、年金旅行客の誘致に取り組むなど、各々の機会を最大限に活かし、お客様の売上確保や業績回復、ひいては地域の復旧・復興に向けた支援に取り組んでおります。

### 《ビジネスマッチ東北実績推移》

(単位: 件数)

実施年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
全体	参加企業数	384	431	459	447
	商談数	2,585	1,533	1,723	1,318
	成約数	189	182	152	160
うち 当金庫	参加企業数	24	21	39	27
	商談数	118	82	181	134
	成約数	21	14	22	12

### 《主な旅行客誘致、視察受入等の状況》

来訪時期	来訪者等	人数
[平成 24 年度中]		3,028
[平成 25 年度中]		944
[平成 26 年度中]		676
平成 27 年 4 月 21、22 日	西尾信用金庫 取引先旅行	20
8 月 24、25 日	信用金庫業界視察研修 [四国地区信用金庫協会]	9
10 月 9 日	東濃信用金庫 とうしん青年経営者クラブ	12
10 月 22、23 日	信用金庫業界視察研修	6
10 月 27、28 日	信用金庫業界視察研修 [静岡県信用金庫協会]	15
10 月 31 日、 11 月 1 日	西尾信用金庫 西尾東ライオンズクラブ	16
11 月 2 日	たちばな信用金庫 取引先旅行	64
[平成 27 年度中]		142

累計[4,790人]

### 《旅行客誘致、視察研修の状況》





外部機関と連携した復興支援の取組み

◇三陸復興トモダチ基金を活用した復興支援

当金庫は、平成23年11月に、米国NGOメーシーコープと国内NPOプラネットファイナンスジャパンとの連携による「三陸復興トモダチ基金」を創設し、雇用支援、創業・新事業開拓支援のための助成金制度、被災者向け利子補給型ローン商品「地域力」、「フロンティア」を提供してまいりました。

本基金は平成26年度で運営を終了しておりますが、被災事業者の事業再開や創業支援を通じて、雇用創出や創業意識を促すとともに、経済の地域内還流を生み出す仕組みづくりにも貢献できたと考えております。

また、本基金の総括として、支援事業者の紹介、基金運営状況等を取りまとめた報告冊子を作成し、平成27年12月に完成報告会を行いました。

なお、平成28年度には、米国のJPモルガンチェース財団より、国内NPOプラネットファイナンスジャパンが助成金の提供を受け、女性起業家を中心にビジネスセミナーの開催や、経営・管理運営面での技術的な支援（専門家派遣）を行う「東北スモールビジネス振興プログラム」を開始することとなっております。

《三陸復興トモダチ基金活用状況》 (単位：件数(人)・百万円)

支援内容		件数	金額
助成金	雇用助成	94(129)	153
	創業助成	76	109
	障がい者向け、アクセス改善	9	7
融資	地域力	216	1,730
	フロンティア	25	221
	震災保証制度融資(信用保証協会)	3	43

《三陸復興トモダチ基金報告書 完成報告会の模様》(平成27年12月1日)



◇(一財)気仙沼しんきん復興支援基金との連携による地域産業の活性化支援

平成25年12月に設立いたしました本基金では、既存の枠組みでは支援が届きにくい中小零細企業やソーシャルビジネスに対し、「事業者向け融資利子補給制度『みんなの元気』」、「ソーシャルビジネス等支援助成制度『みんなの笑顔』」、「産業復興支援制度『みんなの希望』」を創設し、当金庫と新たに設立した一般財団法人が連携を図りながら、地域の課題解決や地域活性化に向けた包括的な支援を行っております。

また、「産業復興支援制度」においては、平成26年4月より外部専門機関と連携したハンズオンによる販路開拓支援事業に取り組んでいるほか、同年10月には「食品表示制度セミナー」の開催を皮切りに、実務者レベルのセミナー、成分分析調査および機能性調査等にかかる支援、ひいては資金調達の円滑化に至るまでのパッケージ化した食品表示法対応支援プログラムを開始しております。

《気仙沼しんきん復興支援基金活用状況》(平成28年3月末現在) (単位: 件・百万円)

制度名	件数	金額
事業者向け融資利子補給制度『みんなの元気』	277	貸出金額 14,062 利子補給額 303
ソーシャルビジネス等支援助成制度『みんなの笑顔』	6	助成金額 8

〈販路開拓支援事業の概要〉

- 主 催：一般財団法人気仙沼しんきん復興支援基金  
 共 催：(株)ゴールドボンド、気仙沼信用金庫  
 後 援：気仙沼市、気仙沼商工会議所、復興庁宮城復興局、  
 (独)中小企業基盤整備機構 東北本部、宮城県気仙沼地方振興事務所、  
 (一社)気仙沼観光コンベンション協会、気仙沼ケーブルネットワーク(株)
- 実施期間：平成26年4月～平成27年3月、平成27年4月～平成28年3月  
 実施内容：①基本戦略構築支援事業  
 ・マーケティング力強化セミナーの開催  
 ②ブラッシュアップ事業 ※以下の各事業は、支援対象事業者を選考のうえ実施  
 ・販路開拓支援対象企業のブラッシュアップ  
 ・商談会出展事前対策セミナー  
 ③商談会・展示会出展事業  
 ・商談会の開催によるマッチング支援  
 ④分析結果等のフィードバック、事業報告

《支援企業の取扱商品のブラッシュアップ事業の模様》

